

ヨコハマ市民まち普請事業

第一次提案書



注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	たかのす自治会建設委員会・集会所計画チーム
現在の主な活動 内容・活動実績	少子高齢化と世代交代が進む中で、地域の喫緊の課題となってきた「最寄りの集会所建設」実現に向けて、2013年自治会内委員会としてスタート。以来、地域内外建設用地の調査・交渉活動、プランニング等に取り組んでいる。具体案が浮上する都度、計画内容作成、関係機関との交渉・調整、住民の合意形成のための資料づくりや説明会開催等を行っている。(2015「港南台南公園内共同集会所建設計画」、2017「隣接地域内市有地への集会所建設計画」)
提案場所	港南区 港南台7丁目
提案名 (25字以内)	たかのす公園集会所建設整備計画
提案する施設（どのような施設の提案ですか）	たかのす公園内に、公園利用者や地域住民が気軽に利用し、コミュニティ・リビング(地域の居間)となる、建築面積54㎡の集会所を建設整備する。 計画概要は、次のとおりである。 ①施設内容：集会所2（音楽・体操や室内遊び、ミニ集会所の可能な大きいスペース1、囲碁・将棋や読書のできる静かな小さいスペース1） 付帯設備（屋外から公園利用者も使えるトイレ、ミニキッチン、事務スペース、玄関、倉庫） ②外観：ローコスト・ローテクで日常のメンテナンスにも配慮した緑化に適する構造物(屋根・壁面等)で、将来的に緑化面積を増やすことを目指す。 ③その他：室内壁面に書棚を設置して有効活用、クライミングウォール設置など遊び場空間の魅力度を高める工夫 ④建設費用：自治会自己資金(建設積立金)と補助金を予定 整備費用の概算額：約 1,500 万円
活用イメージ（提案する施設でどのようなことを行いますか）	◎多世代がクロスする開かれた交流拠点 ・『緑陰のオープン・スペース』 仲間同士や親子でも一人でも気軽に自由に過ごせてリフレッシュできる場所 ・『コミュニティ・リビング』 家、職場や学校と異なる居場所、おしゃべりを楽しんだりくつろいだり、趣味や得意なことを分かちあったり、ミーティングもできる「第3の場所」 ・『みんなのセーフ・スペース』 トイレ、天候急変や猛暑時の避難休憩、公園見守り・防犯パトロールの拠点 ・『小さな図書館』 地域の家庭に眠る本や不要な絵本をリユースするミニ図書館機能 ・『ボランティア・ビューロー』 運営ボランティアはじめ地域支援ボランティアの交流と情報発信拠点
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題）	・たかのす地域では、40数年前の自治会結成当初から集会所建設を目指してきたが、適切な建設用地が得られず、実現できていない。住民の地域活動は、必要に応じて近隣福祉作業所を閉所時間に借りる等でしのいでいるが、地域住民が常時気軽に利用できる唯一の共有空間は、地域のほぼ中心に位置するたかの

題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください)	す公園だけである。日常の公園利用のほか、自治会をはじめシニア、子ども会行事や防犯パトロール拠点などに活用。有志が積極的に公園の維持管理に参画し、季節の花に溢れた公園として地域に親しまれている。 ・高齢化が進んで、開発初期以来の顔の見える関係が徐々に失われつつある一方、若いファミリー層が増加傾向にあり、世代を超えた新たな縁をどう紡ぐか、課題になっている。その解決の糸口に、多世代が利用する公園空間を活用したい。小規模公園の建築制限というハードルがあるが、チャレンジし、地域コミュニティ醸成の場として魅力ある環境を創出して、課題解決につなげたい。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	「ひとり一人が人間らしく住まう」という視点から、 ・たかのす公園の自然と植栽と小さな緑陰の集会所が示す四季のリズムに、多くの人がふれあう機会が増すことで、人と環境が響き合い共生するまちに。 ・日々の暮らしの中で人と人が交わり、世代を超えて自由に語りあい、つながりあい、互いの顔が見えるまちに。 ・自分のまちを一生懸命支える大人がいる姿を子どもが身近に感じて記憶し、やがて未来のまちづくりの担い手としてつながっていけるまちに。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	・公園愛護会、三友クラブには、開発当初からまちづくりに尽力してきたシニアメンバーが多数いて、園芸や環境整備の知恵やノウハウを幅広く有する。 ・子ども会関連親世代には良好な遊び場を求める声があり、協力が期待できる。 ・自治会ソフトボール団体には、幅広い世代のメンバーの協力が期待できる。 ・少年野球団体は、OBや保護者のネットワークがあり、協力が期待できる。
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	・自治会内に運営管理委員会を設置し、維持管理費(地代・光熱水料)及び修繕積立金は、従来の自治会「建設積立金」積立額から充当することを予定している。 ・日常管理は、既存の関係団体の協力を得ながら、地域に潜在しているシニア層を掘り起こして3つのボランティアグループを形成すること検討している。 ①『緑ボラ』→公園愛護会メンバーを中心に園芸に関心のある新しい層を開拓 ②『小さな図書館ボラ』→本好きな人という新たな分野のボランティア開拓 ③『居るボラ』→「そこ(集会所)にいるだけボランティア」閉じこもりがちな人に見守り活動に協力してもらい、社会参加のきっかけをつくる。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	港南台7丁目は港南台地区の東端にあつて、交通手段を持たない高齢の人や乳幼児を抱えた人が徒歩で安全・安心かつ気軽に出かけられる場がないが、この整備で、そうした人の孤立を防ぎ社会参加を促進することにつなげたい。それには、知り合いが誰もいなくても一人でも入りやすく、自分も一員として溶け込みやすい工夫が要る。今の公園を活かしながら、色々な人が「のぞいてみたい」「出かけた」「居たい」、そして「支えたい」環境づくりを進めたい。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
港南土木事務所	応募することを了解しました。 小規模公園への建設許可は、当該事業などで公共性が認められることが条件になります。現状の公園の利用形態を損なわず、公園利用者全般にとって公園を利用する上でプラスになる提案をご検討ください。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

①港南台7丁目区域図



②たかのす自治会 たかのす公園位置図



現況写真



① たかのす公園全景（ゲートボール練習中の風景）
向かって左手側（倉庫の裏）が集会所建設候補地



② 地域住民が世話する季節の草花



③ 子どもの遊び場

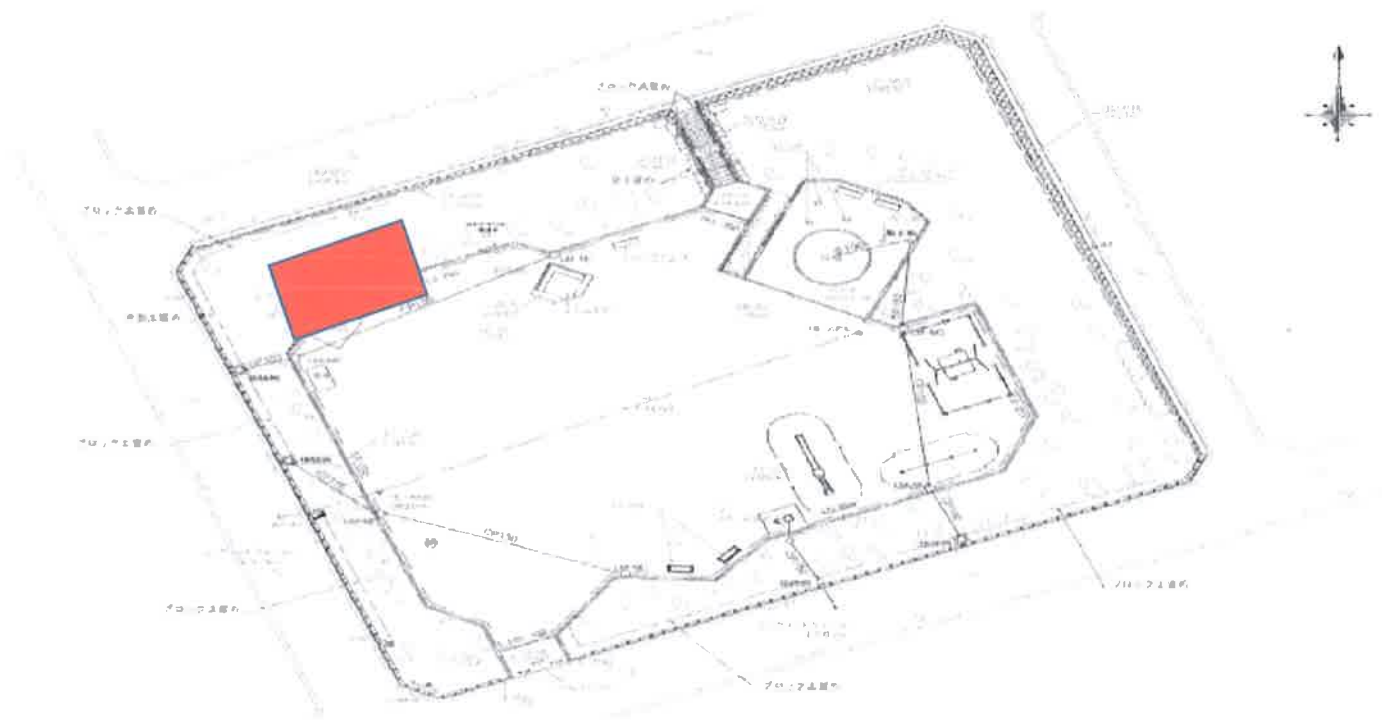


④ 公園側から見た建設候補地



⑤ 道路側から見た建設候補地

活用イメージ図（配置計画図）



その他資料

ひとりで、仲間とも、親子でも、気軽に自由に過ごせる
多世代がクロスするコミュニティリビング



セーフ
スペース



ボランティアビューロー



小さな図書館

